

# 関東米粉食品メールマガジン

第171号 27. 6. 25 【毎月1回発行】

(18.7.20 創刊)

関東米粉食品メールマガジンは、**関東米粉食品普及推進協議会**が、会員の皆様から寄せられた様々な情報をもとに、米粉の利用拡大のために情報発信しています。



## ◆目次

- <1> 米粉取組事例の紹介
- <2> がんばれ！米粉応援隊
- <3> 米粉イベント&募集のお知らせ
- <4> 各都県事務局からのお知らせ
- <5> その他のお知らせ



\*\*\*\*\*

## < 1 > 米粉取組事例の紹介

### ◇「米粉料理の試食会」を開催 <栃木県>

**栃木県米粉食品普及推進協議会**は、平成27年6月4日とちぎアグリプラザで、第11回栃木県米粉食品普及推進協議会総会を開き、総会終了後に「米粉料理の試食会」を開催しました。

試食会には、当協議会会員の株式会社波里、日の本穀粉株式会社、栃木県立宇都宮白楊高校食品科学科3年生から、米粉を使った冷製スープやフランスパン、デザートของムースやマカロンなど計9品の料理が提供され、試食した高校生からは、「どれもおいしい。米粉は、主食やお菓子など使い方によっていろんな表情があっておもしろい。」との感想が聞かれました。

また、その他の参加者からは、「米粉でこんなおいしい物が出来るのか。」と言った驚きの声や、担当者に対し「市販はしていないのか。」と言った質問も出るなど、参加した多くの会員が、あらためて米粉の良さを感じていたようでした。

さらには、当日の様子が地元放送局の夜のニュース（NHK宇都宮・栃木テレビ）で取り上げられ、また翌日には、「県産米粉でパンや菓子」との見出しで新聞記事となるなど、米粉の存在を多くの皆さんにお知らせすることが出来ました。

今後も当協議会では、米粉の普及啓発・消費拡大につながる活動を推進していきます。



試食会の様子



米粉のバケット

\*\*\*\*\*

## < 2 > がんばれ！米粉応援隊（都県協議会等の会員紹介）

### ◇ふれあいパーク八日市場有限会社（ちば米粉食品普及会）

千葉県匝瑳市にある「ふれあいパーク八日市場」では、直売所で地元産コシヒカリから作った米粉を販売するとともに、レストラン「里の香」で提供する天ぷらに米粉を利用しています。小麦粉に米粉を混ぜて揚げた天ぷらは、衣のサクサク感が絶品で人気メニューになっており、天ぷらを食べた後に、直売所で米粉を買い求めるお客様も多くいます。

また、関東各地で開催されるイベントへ積極的に参加して、米粉を使った地域の郷土食「どんと焼き」や米粉クレープなどを提供しています。昨年度は、「野菜たっぷり！米粉クレープ」を携えて「米粉米級グルメ王座決定戦」にも出展、見事に特別賞を受賞しました。

現在は、自社加工もしくは業者委託での米粉パン販売を計画しており、さらなる米粉の普及・利用拡大に向けた取組を進めています。



「さくさく衣の天ぷら」



特別賞の賞状



図柄を工夫した巻物も人気商品(写真は傘をデザイン)

### ◇NPO法人さんさん味工房（ちば米粉食品普及会）

千葉県山武市にあるNPO法人「さんさん味工房」は、山武市産のお米から作る「さんむ米粉」を使って、「食をつうじてのまちづくり」を目的に、平成22年に設立されました。

取り扱う商品は、「さんむ米粉」のほか、米粉麺、米粉パンや米粉のスイーツとなっていて、直営店や山武市内の協力店での販売のほか、移動販売も行っています。特におすすめは直営店で、米粉商品が購入できるほかに、米粉料理レシピの情報提供や、米粉に関する相談を受け付けるなど、まさに米粉のスペシャリティショップとなっています。

そのほかにも、米粉の委託製造、米粉料理教室、イベントへの出展など、米粉の普及のために幅広い活動を行っています。これまで米粉パンのみ納入していた学校給食へも、今年度から米粉麺の納入が始まるなど、少しずつですが事業も広がっています。

現在は、山武市内での販売が中心ですが、今後はネット販売にも力を入れて、販路の拡大を目指していて、そのための商品開発が課題となっているようです。



米粉情報満載の直営店



「さんむ米粉」



米粉麺は、3種類の太さがあります。

\*\*\*\*\*

### < 3 > 米粉イベント&募集のお知らせ

#### ◇米粉パンの販売を行っています（埼玉県）

埼玉県米粉利用食品推進連絡会では、米粉利用拡大の一環として毎月1回「米粉パン」の販売を行っています。

現在は、「米粉ベーグル」の販売を行っており、リピーターになる方も多く、好評を得ています。

お近くへお越しの際は、是非お立ち寄り下さい。

- 販売場所：さいたま新都心合同庁舎2号館（1階食堂「カフェテリア若菜」内）  
さいたま市中央区新都心2-1（JRさいたま新都心駅徒歩10分）
- 販売時間：12時00分～12時45分（商品が売り切れ次第終了となります。）
- 今後の販売日：
  - ・平成27年6月30日（火）
  - ・平成27年7月28日（火）
  - ・平成27年8月25日（火）
  - ・平成27年9月29日（火）

\*\*\*\*\*

### < 4 > 各都県事務局からのお知らせ

#### ◇埼玉県米粉利用食品推進連絡会 第1回実行委員会開催（埼玉県）

去る5月25日（月）、さいたま市において埼玉県米粉利用食品推進連絡会の第1回実行委員会が開催され、昨年度に引き続き実行委員を依頼した8名の実行委員のうち7名の委員が出席しました。

委員会では、事務局から「本委員会が、埼玉県米粉利用食品推進連絡会会員から、事業を実施するに当たっての意思決定機関として承認を頂いた。」旨の報告があった後、平成27年度に取り組む、埼玉県米消費拡大推進連絡協議会（米推協）の助成事業ならびに、米穀安定供給確保支援機構（米穀機構）との共催事業について、活発な議論が交わされました。

なお、「米粉米級グルメ王座決定戦」に代わる新たなPRイベントについては、10月18日（日）に、埼玉県所沢市の航空記念公園で開催することが、決定されました。

#### ◇米粉料理教室の講師募集！！（埼玉県）

最近の米粉への関心の高さから、米粉料理教室が各地で開催され、埼玉県米粉利用食品推進連絡会にも講師派遣依頼のお問い合わせをいただいております。

家庭での米粉の利用拡大につなげることを目的に、当米粉連絡会においても講師をお引き受けいただける会員の皆様に登録をしていただきたいと思いますと考えております。

つきましては、以下のとおり講師をお引き受けいただける方々の募集をいたしておりますので、ふるってご登録されるようお待ちしております。

- 募集の案内はこちらからご覧いただけます（PDF形式ファイル）。

<http://www.maff.go.jp/kanto/syokuryou/syouhi/sin->

\*\*\*\*\*

## < 5 > その他のお知らせ

### ◇米穀の新用途への利用の促進に関する基本方針説明会について

関東米粉食品普及推進協議会では、本年4月、新たに決定された「米穀の新用途への利用の促進に関する基本方針」を周知するとともに、米粉・米粉食品のPRのため、公益社団法人米穀安定供給確保支援機構との共催で、次のとおり説明会を開催します。

- 1 日 時：7月8日（水） 13：30～15：30
- 2 場 所：さいたま新都心合同庁舎2号館 11階 関東農政局防災対策室
- 3 参集規模：80名  
管内米粉協議会会員ほか
- 4 内 容：
  - 第1部 米粉の普及・需要拡大に向けた意見交換会 13：30～14：30  
座長：武内 秀行 氏  
(みたけ食品工業株式会社 代表取締役社長)
    - ①基本方針の説明（説明者：農林水産省穀物課）
    - ②意見交換会  
アドバイザー：萩田 敏 氏  
(NPO法人国内産米粉促進ネットワーク 副理事長)
  - 第2部 「新用途向けの新たな米穀加工技術」の紹介  
講師：農研機構食品総合研究所上席研究員 杉山 純一 氏
- 5 そ の 他：新たな米穀加工技術製品（米ゲル・コメピューレー）の展示
- 6 参 加 方 法：参加を希望される会員の方は、各都県の協議会事務局又は次の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いします。
- 7 問い合わせ：関東米粉食品普及推進協議会事務局（関東農政局 生産部内）  
TEL：048-740-0428

### ◇食品表示の適正化に向けた取組について

6月19日（金）、消費者庁から「食品表示の適正化に向けた取組について」が公表されました。

その中で、小麦アレルギー対策の一環として製造されている、米粉を使用したパン等の一部で、製造工程における小麦の混入（コンタミネーション）や表示が原因と思われるアレルギーに関する事故情報が散見されていることから、米粉製品を製造、販売している事業者に対して、適正表示及びコンタミネーションの防止対策の監視指導の徹底と、啓発活動が実施されることになっていきますので、お知らせします。

詳しくは、消費者庁ホームページをご覧ください。

#### ●消費者庁ホームページ

<http://www.caa.go.jp/foods/index.html#m02-1>

### ◇「関東農政局メールマガジン」について

農林水産省関東農政局では、行政情報・地域の食と農のイベント情報などをタイムリーにお

知らせするため、メールマガジンを発行しています。（隔週発行。無料）  
購読を希望される方は、以下のリンクから登録をお願いいたします。

●関東農政局ホームページ

<http://www.maff.go.jp/kanto/houdou/kouhou/merumaga/index.html>

◇「食べて応援しよう！」の取組について

農林水産省関東農政局では、東日本大震災の被災地で生産された食品を積極的に消費することにより、産地の活力再生を通じて被災地の復興を応援するため「食べて応援しよう！」を共通のキャッチフレーズに、さまざまな取組の呼びかけを行っております。

ご賛同いただける方のご参加をお待ちしております。

●「食べて応援しよう！」へのリンク（関東農政局 HP）

[http://www.maff.go.jp/kanto/ouen/pdf/tabete\\_ouen1.pdf](http://www.maff.go.jp/kanto/ouen/pdf/tabete_ouen1.pdf)

-----  
【編集後記】

4月号からメルマガの編集に携わり、読者の皆様に誌面の充実をお約束していたところですが、今月号から「がんばれ！米粉応援隊」と称して、都県協議会等の会員を紹介するコーナーを設けてみました。今後も、様々な取組を紹介していきますので、会員の皆様の取組みに役立てていただければ幸いです。

さて、先日、大手製パンメーカーの商品を食べていたところ、「北海道産小麦14%使用」の文字が目に入りました。意図的なのか偶然なのかは不明ですが、近年の小麦の自給率に近い数字だったので、何となく印象に残りました。

昭和40年以降急速に下がり、一時は5%程度まで落ち込んだ小麦の自給率ですが、お米の生産調整政策などにより、昭和50年代半ばからは10%台を推移しています。国としても、自給率の向上や水田の有効活用といった面から、小麦の生産振興策を進めて来ましたが、稲作との関係や刈取り時期の天候不順といった要因から、生産量が増加しないのが現状です。

米粉からすると小麦粉はライバルですが、食料自給率のことを考えると、国産小麦は大切な仲間なので、今後もお互いに協力し合って、普及拡大が図れればと思います。

●米粉食品に関する情報は・・・

<http://www.maff.go.jp/kanto/syokuryou/komekojouhou/>

●関東米粉食品普及推進協議会を募集！「各都県協議会事務局まで」

<http://www.maff.go.jp/kanto/syokuryou/syouhi/sin-komeko/kyougikai/>

●FOOD ACTION NIPPON「米粉倶楽部」公式サイト

<http://www.syokuryo.jp/komeko/>

●皆様のご意見・ご質問、ご要望をお待ちしています！

関東米粉食品普及推進協議会事務局（関東農政局 生産部生産振興課内）

TEL：048-740-0100（直通）

FAX：048-601-0533

\*メルマガバックナンバー ⇒ <http://www.maff.go.jp/kanto/syokuryou/syouhi/sin-komeko/merumaga/>